

ほっかいどう

「しゃべる道路」も開発

路面に刻んだ溝とタイヤとの摩擦音で音楽を奏でる道路「メロディーロード」を開発し、全国で施工してきたのが土木工事を手がける標津町の篠田興業だ。いま、施工システムの高度化と新商品開発の真つ最中だ。

メロディーロードは楽曲の音符をもとに、路面に幅と間隔に規則性を持たせた溝を刻み、車が法定速度で走ると曲に聞こえる音が出る。2004年、同町川北の町道約250mに「知床旅情」を奏でる道をつくと評判を呼び、滋賀県の琵琶湖大橋の「琵琶湖周航の歌」、長野県茅野市の車山ビーナスラインの

篠田興業 (標津町)

車で走ると路面から「音楽」



「スカポロフェア」など全国の5県にも広まった。アイデアを出し、道立工業試験場と共同開発したのが篠田静男社長(58)だ。若い頃から「舗装直後にブル

ドーザーが走ってできた道路の凸凹の上を車で走ったら音が聞こえた。利用できないか」と考えていた。当時、経営は公共事業の落ち込みで青息吐息だった。自分はコンビニ経営に転身していたが、社長の兄が新事業のアイデアを求めて来たのだ。その兄が病死し、05年に社長として会社に戻った。経営立て

直しに奔走しながら、地域の鉄工所や電気業者らと連携、メロディーロードの売り込みと施工機械の技術革新に取り組んだ。音声から自動的に溝の幅を設定するプログラムを開発。これを応用して「カーブです」「止まってください」など安全運転を訴える「しゃべる道路」を一年、町内で試験施工した。

篠田興業 1973年設立。資本金2670万円。2011年2月期の売上高は土木を主体に約1億6千万円。音楽を奏でる道路の設計施工業者

はほかに道外に1社あるが、「メロディーロード」は商標登録され、昨年3月にはその技術的独自性が認められて特許を得た。

「地域の人の役立つことは何かを考え、手がけたらとことんやる」と篠田社長。小さな町の小さな会社の挑戦は続く。(深沢博) 次回3月7日は「これがスゴイ」として、体験入居できる戸建て住宅の賃貸事業を始めた千歳市の住宅メーカー「アーキビジョン21」を紹介する予定です。

よつ葉と雪印が生産協力へ合意

物流・資材調達も連携
よつ葉乳業(札幌市)と雪印メグミルク(東京都)は、生産、物流、資材調達

坂本建設破産の手續き開始決定

札幌地裁、負債51億円
土木建築工事の坂本建設(札幌市)が28日、札幌地裁から破産手續き開始の決定を受けた。帝国データバンクや東京商工リサーチによると、負債総額は約51億3100万円。

同社は1924年に稚内

の3部門で協むことで合意した。製造設備や共同配送、などを通じているのが狙い。具体的な内容は、すでに

で創業し、55幌に移転。護公共工事やトン建設を手がコンとして95157億円をだが、受注減の悪化などが3月期には赤字にまで落ち

クラウ、

札証が、不正会

札幌証券取業向けのアンに上場するデント業の「

わが社のスゴイ!

湧別



振り込め詐欺未然に防ぐ 振り込め詐欺を窓口で未然に防ぐだとして遠軽署は28日、湧別町

あつたのは今月14日。前日、女性宅にアフリカ・スターダンへの寄付と為替売買を呼びかける封書が届いた。間もなく電話で、手持ちの資産を尋ねられ

根室

サンマフライ給食 根室市の全小中学校の児童生徒に28日、東海海洋学部と

共同開発した学校給食用サンマフライの試作品約2700食が無償提供された。

地産地消と性化を目指し一の根室。花

経済